

# 丹後郷土資料館調査だより

令和5年7月1日 第12号

## ごあいさつ

丹後郷土資料館は、昭和45年（1970）11月7日の開館以来、京都府北部の歴史・考古・民俗の3分野における資料の調査、収集、展示等に取り組んで参りましたが、本格的な改修の時期を迎える中、昨年8月、当館の「名誉館長」に佐々木丞平氏（京都国立博物館名誉館長）をお迎えしました。その後、10月には、丹後地域の歴史文化の探訪・観光の拠点施設となる博物館を目指し、リニューアル整備が始動しました。現在、令和8年度リニューアルオープンを目指し、資料館再整備基本・実施設計等を進めつつ、ハード面、ソフト面のさまざまな検討を行っているところです。

ところで、昨年度は、春の企画展「海上禅叢」、夏の京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「あやしい京都」連携展「あやしい丹後」、秋の特別展「祈りのカタチー丹後に生きた人々の願いー」、冬の企画展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる60年ー」等の5件の展覧会、4件の文化財講座を開催しました。また、勾玉づくり他の「夏休みこども体験教室」、地域の史跡を巡る「ぶらり丹後」、古文書を読むわざを身につける「古文書講習会」等、文化財の普及啓発の取組も進めました。

その他、文化財を活用したライトアップ、熱気球体験、音楽会、Eバイクツアーに加え、丹後ばらすし・経ヶ岬灯台等の地域文化の魅力発信にも積極的に取り組みました。

これからも、多くの皆様から身近で親しみ愛される、そして、来訪者がわくわくするような体験を提供する等、社会の推移に柔軟に対応できる新たな博物館の像の確立に向け、地域文化の積極的な情報発信を進めていく所存です。

今後とも、皆様の御理解・御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

京都府立丹後郷土資料館長 岸岡 貴英

## 目 次

■ ごあいさつ	岸岡貴英	1
■ 近世における天橋立周辺の景観と開発	稲穂将士	2
■ 京都府北部の土馬・陶馬 ～資料館寄託品の紹介と資料集成～	桐井理揮	1 5
■ 資料紹介：法華七諭が書かれた経板	松尾史子	2 1
■ 人口減少時代の互助社会論	青江智洋	2 4
■ 令和4年度の資料整理	資料課	2 9
■ 丹後学び舎セミナー活動報告	資料課	3 1
■ 令和4年度のあゆみ	総務課	3 2